

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|    |               |
|----|---------------|
| 所在 | 千代田区外神田2-17-4 |
| 園名 | 保育室「愛の園」      |

## 1. 活動のテーマ

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実施し、日認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

### <テーマの設定理由>

開園以来、月2回30分ずつの英会話教室の中で、子どものみならず保育士も共に参加して一緒に英語に触れて参りました。そんな中、外国人の保護者の方が数名いることから、お迎えに来ると英語で話しかけてみようするなど、英語への興味関心が高まってきていると感じます。今回はプレバレーションさんによる英語教室の中で生きた英語に触れ、日本語や英語など言葉への興味をもっと高めていけると思っています。またネイティブの保育補助も入り、外国の方との交流を深めて参ります。

## 2. 活動スケジュール

乳児は英語と日本語の絵本に触れ、違いについて知る機会を持つ。幼児は昨年度の活動を進めるなかで「英語を話すお友だちと英語で話をしてみたい」「英語で伝えるにはなんと言うんだろう？」という気持ちが高まってきた様子。両方のことばの違いや特徴への疑問を問いとして設定し、英語・日本語両方の歌の教材、絵本を用意して、ことばの違いに関して知る中で、それぞれの言葉をつかう人たちや、国、文化を探求していく。日本語や英語を話す保育者、講師それぞれが保育に入ることにより普段の生活の中で聞き、ことばの違いについて探求できるようにする。またその様子を写真や動画を使って記録する。

活動が終わったあと、英語講師と外国人の保育補助を含めて振り返り、内容については掲示し保護者と共有する。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境設定： ケアタイムの中で

準備物： 歌詞カード、動物フラッシュカード、動物鳴き声図鑑

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

0歳児クラスでゆかいなまきばの歌を英語と日本語で歌ってみる。フラッシュカードの動物の鳴き声を聞き比べ、実際の鳴き声も聴いてみる。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

担任が動物のカードを持ってくる。「色々な動物が出てくるよ～鳴き声って知ってるかな？」と声掛けする。豚、羊、牛などのカードを見せると「おー！」「あー！」とそれぞれ指をさして声をあげて喜ぶ。保育者の角のジェスチャーを見て真似する子もいる。実際に鳴き声を出してみると「ぶーぶー」「めーめー」と声に出して真似をしている。身体を揺らして楽しそうにしている子もいる。るみ先生と交代して英語の鳴き声を聞いてみる。一人は先生が交代になったこともわかったのか、「ばいばーい」とカードに手を振っている。るみ先生も一枚一枚カードを見せながら英語での鳴き声を教えてくれる。子ども達が動物のカードとのタッチを求めて手を伸ばす。動物にタッチできて満足気な様子がある。るみ先生と毎週顔を合わせているので、0歳児の園児も人見知りすることもなく、るみ先生との交流を楽しむ姿がある。馬のカードでは「neigh」と聴くと、一人が「ねいねい…」と真似してみる姿があった。羊では「baa baa」と聴くと「ば！」と声に出していた。一人は音に合わせて室内を歩き回り、少し離れたところから全員の様子をみている。時折にこにこ笑っており、「おいで」と声をかけられると側にきて、カードにタッチしていた。ゆかいなまきばの歌を英語で歌ってみる。音楽好きな子が多く、体を揺らしている子が数名いる。一人はるみ先生が歌っている様子をじっと見つめている。一人は手拍子をしてリズムに乗っている様子。次にどうぶつ図鑑を用いて動物の鳴き声を聴いてみる。皆鳴き声になるのをじっと聴く様子がある。図鑑が終わる際に「ばいばい」と手を振る姿があった。

#### 5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

動物のカードを用いながら日本語・英語それぞれ鳴き声を聴き、興味を持って参加することができていた。一人は離れた所から様子を伺う様子があったが、無理に輪に入れようとせずに周辺参加する様子を見守った。言葉やジェスチャーを真似しようとしたり。「ゆかいなまきば」の音に合わせて楽しむ姿が見られた。子どもたちが興味を持って参加できるようカードや音楽を通して英語に触れることで日本語との違いや声を出す楽しさ、言葉を使う楽しさに繋がっていくと感じた。

